

令和 7 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 7			学校名		県立水戸飯富特別支援学校								学校長名		友部 道夫			
教頭名	佐藤 政雄					教頭名		飯村 由希子					事務（室）長名		小河原 道子				
教職員数	教 諭	97	養 護 教 諭	2	栄養 教諭	1	常 勤 講 師	7	非常勤 講 師	4	実 習 助 手	2	事務職員	3	技 術 職員等	14	計	134	
幼児・ 児童・ 生徒数	部	1 年（3 歳児）		2 年（4 歳児）		3 年（5 歳児）		4 年		5 年		6 年		合計		合計 クラス数			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	幼稚部																		
	小学部	8	5	11	5	13	5	14	5	12	8	12	1	70	29	21			
	中学部	24	3	24	5	18	5							66	13	16			
	高等部	16	8	15	10	26	6							56	25	14			
	専攻科																		
	小計															192	67	51	
	合計															259			

2 目指す学校像

- ◆朗らかで楽しい学校
- ◆穏やかで安心できる学校
- ◆和やかで信頼される学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・避難／防災訓練（年 4 回）、シェイクアウト訓練（月 2 回）、てんかん発作・食物アレルギー対応シミュレーション訓練、児童生徒の搜索訓練等を実施し、各種マニュアルの見直しを行っている。 ・巡回相談（97 件）、来校相談（15 件）、推進体制充実事業（大洗町：6 回）等をとおして、地域の特別支援教育の充実に寄与している。 ・定時退勤日の設定や長期休業中の時差出勤の奨励、年度初めや面談期間中の短縮日課（1 時間繰り上げ下校）を実施し、勤務時間外在校時	・長期欠席の児童生徒に対する学習保障や、関係機関との連携による家庭支援が必要である。 ・県の特別支援教育推進体制充実事業と次年度からの地域連携体制構築事業を効果的に展開できる校内体制づくりが必要である。 ・会議時間の短縮や定時退勤日の励行等により、個々の教職員がタイムマネジメント意識の醸成

	間 45 時間以上及び年間 360 時間以上 0 人を達成している。 ・教職員のコンプライアンス確保に向け、県教委の指示事項や事例等に基づいてテーマを決め、部主事、学年主任をリーダーにしてボトムアップ型のコンプライアンス研修を実施している。	していく必要がある。 ・教職員コンプライアンス推進計画に基づき、個々の教職員がコンプライアンス意識を醸成できる取組を推進していく。
学習指導	・各部に授業改善チームを設置し、「探究心」を育む授業づくりに向けた授業改善研修の充実を図っている。 ・個々の児童生徒キャリア発達支援の更なる充実を図るため、キャリアパスポートの様式の見直しを行い、学校と家庭が連携した取組を実施している。 ・県の就労支援充実事業を活用し、職業科の単元計画や年間指導計画の見直しを行い授業改善につなげている。	・育成を目指す資質・能力に基づく適切な目標設定と学習評価の工夫・改善が必要である。 ・キャリアパスポートを活用した個別の教育支援計画の連動について研究を深める必要がある。 ・地域資源の活用により、学校運営協議会制度（コミュニティスクール）を効果的に運用できる体制構築が必要である。

4 中期的目標

- 1 安心して学習や生活できる「安全・安心」な教育環境づくりに努める。
- 2 児童生徒一人一人の学びや生活のしやすさを高め、生活に結び付いた確かな学力の定着を図る。
- 3 地域資源を効果的に活用し、地域に根ざしたキャリア教育を推進する。
- 4 幼児教育施設・小・中・高等学校等との連携を密にし、地域の特別支援教育の充実に寄与する。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
(1) 安全・安心で温かな教育環境づくり	①一人一人の児童生徒が安心して学習や生活ができる教育環境づくりの推進 （事故等の未然防止、危機管理体制の強化） ②児童生徒理解の促進と児童生徒・家庭支援の充実、食育・健康教育の推進
(2) 一人一人の学びに寄り添う授業づくり	①的確な障害の状態等の把握、教科等と関連を図った自立活動の指導の充実 ②育成を目指す資質・能力を踏まえた教科等の適切な指導目標の設定と学習評価 （主体的な学びを促す授業実践の蓄積等）
(3) 一人一人の自立と社会参加に向けた地域に根差したキャリア教育の推進	①系統的なキャリア教育の推進と教育課程編成の工夫・改善 （就労支援充実事業、コミュニティスクール） ②「働く」意欲を高める授業実践の蓄積（「キャリアパスポート」の効果的な活用）
(4) センター的機能をいかした地域の特別支援教育の充実	①幼保・小・中・高校等への巡回相談における特別支援教育に関する助言・援助の充実 ②学校公開や研修会等をととした特別支援教育に関する情報の積極的な発信・情報共有
(5) 教職員の「働きがい」や「生きがい」を保障するための働き方改革と教職員のコンプライアンス確保に向けた取組の推進	①教職員コンプライアンス推進計画に基づく風通しのよい職場づくり、コンプライアンス意識の醸成 （定期的な教職員コンプライアンス実践研修、コンプライアンスアンケート結果の分析 等） ②会議時間の短縮や学校行事の見直し等による時間外勤務の削減と児童生徒の指導・支援に係る時間の創出

